

(答弁書第十六号) 昭和二十二年八月十二日配付

内閣参甲第一八号

昭和二十二年八月八日

内閣総理大臣 片山 哲

参議院議長 松平恒雄殿

参議院議員北條秀一君提出新日本建設運動と國旗尊嚴擁護と帰還促進との関連についての質問に対し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員北條秀一君提出新日本建設運動と國旗尊嚴擁護と帰還促進との関連に

ついでに質問に対する答弁書

一、新日本建設國民運動において現下の經濟危機打開のため國民各自が自立精神を回復して自らの責任において萬事を處理する如き態勢を確立することを目標の一としていたのであつて、このため國旗に対し敬意を表し國旗を仰ぐことによつて自立的精神を固めて時艱の克服に邁進する風潮を養うことは必要な事柄と考へている。

依つて許された條件の下に國旗の尊嚴を機會ある毎に力説して危機の突破に努力したいと思ふ。

二、在外同胞の帰還促進についてはそれぞれ關係筋において連合軍に対し懇請を続けつつあるが、新日本建設國民運動に併行して在外同胞の帰還促進の運動がつづけられ、その目的達成に力強い推進力を加へることは望ましいことであつて、同時に國民運動の目標に掲げられた國民相互の友愛協力の發揮によつて戰爭犠牲者其他未帰還者、遺家族、留守家族等のための國民的援護の実があがるならば、これが同時

に帰還促進に対して最も大きな寄與をなすものであると考えている。